

中小製造業の業務改善調査（副業・兼業やDXの導入による効果）

常葉大学 経営学部 小豆川ゼミ・研究室
指導教員：教授 小豆川裕子

参加学生(18名)：○リーダー

3年：○佐々木蓮 赤堀裕斗 飯野太一 池ヶ谷瑠那 石川優月 大棟奈々美 加藤純香
小林穂乃香 坂野莉流 佐々木蓮 柴田真奈 鈴木菜々美 鈴木怜奈 田口真衣
多々良朱里 一杉空河 益富咲菜 望月陽向 渡邊柊斗

1 要約

2020年8月、富士市は小長井市長が「富士市デジタル変革宣言」において、テレワーク先進都市の実現を目指すとして以降、総合的なDX、テレワーク推進のための取組を行っている。

本研究はその一環で、富士市における製造業の現状・経営課題を把握し、労働力減少や地域の人材不足を背景に、副業・兼業を活用する意義や効果を理解する。

活動のプロセスでは、副業・兼業を推進する支援機関のレクチャーを受講したり、取材のノウハウ等を修得する。続いて調査全体の設計やヒアリングのアポどり等の準備を行い、5グループに分かれて受け入れ側の企業・団体および副業・兼業人材のヒアリングを実施する。その成果は「副業・兼業活用事例集」にまとめるとともに、パンフレットを制作・配布し、あわせて富士市のHP、本学HP、各種イベント等で成果発信を行う。

2 研究の目的

本研究は1. 副業・兼業の活用を推進する支援機関・支援者、2. 副業・兼業を活用する実施者（受け入れ企業・団体等、副業・兼業人材）の2つの視点で調査・取材を行い、成功事例集を作成することで、関係人口の増加、中小製造業を中心に市内企業成長発展に資することを目的に実施する。

3 研究の内容

(1)実施体制と役割分担、(2)実施時期と内容は以下のとおりである。

(1) 実施体制と役割分担

・課題提出者：富士市産業交流部 産業支援課

・企画・制作：小豆川裕子ゼミ・研究室 3年 18名

□協力：株式会社JOINX 富士このみスタイル・このみ会 富士信用金庫 コニカミノルタ・ジャパン株式会社

(2) 実施時期と実施内容

2023年（以下敬称略）

7月27日：キックオフミーティング：富士信用金庫のレクチャー、小豆川ゼミ生の報告による課題意識の共有

(1) 富士信用金庫「中小企業の経営課題解決の新たな選択肢～副業・兼業人材活用当金庫の取り組みについて」

(2) 小豆川ゼミABC各グループの報告：「多様な人材活用をめぐる現状・課題と解決策について」

8月：ヒアリング前半：副業・兼業による多様な人材活用を推進する企業・団体・支援者を対象に、ヒアリングを実施

9月～11月：ヒアリング後半準備（企業・団体、副業・兼業人材等対象先選定、依頼状、質問項目の作成）

10月26日：富士コミュニティエフエム放送(株)ラジオエフ佐野智恵子氏のレクチャー「魅力を引き出す取材テクニック」とロールプレイング

11月30日：LITTLE L [Life design office] 早川方史氏のレクチャー「デザインの考え方とCANVAの利用方法」と操作実習

12月：5グループに分かれてヒアリングのアポどり、ヒアリングを実施。

2024年

1月～：副業・兼業活用事例集の制作・配布・成果発信。

図表1 ヒアリング対象と内容（敬称略）

1	ヒアリング前半 2023年8月	副業・兼業による多様な人材活用を推進する企業・団体・支援者
	対象	内容
	富士市産業支援課	副業・兼業推進の経緯、副業・兼業のメリット 市内企業の確保の方法、
	富士信用金庫	副業・兼業のアプローチ、企業やフリーランスにとっての副業・兼業のメリット、副業・兼業にあたっての業務提携の基準、副業・兼業で富士信用金庫が目指す未来
	コニカミノルタジャパン株式会社人事部	2018年4月に副業を解禁した経緯と目的、解禁後の状況、副業をする上でのルール、副業を解禁したことによるメリット・デメリット
	静岡県よろず支援拠点 コーディネータ 山堀圭太郎	よろず支援拠点の概要、ビジネスマッチング支援を行う理由、静岡県内の相談内容、具体的な事例、企業や不利^ランス事業者のメリットの内容、相談を通じた幸福感
	株式会社協働日本取締役社長 村松知幸	協働日本が行う支援内容、副業人材で発生する課題と対応策、協働日本の取り組み事例
	ランサーズ株式会社 インキュベーション推進室 地方DX推進 マネジャー 篠原智美	ランサーズの仕事内容、登録者数、地方企業の仕組みを利用するメリット、個人のワーカーが副業・兼業を行うメリット
2	ヒアリング後半 2023年12月	副業・兼業人材を活用する企業・団体および副業・兼業人材
	対象	内容
	<企業・団体等> (1) 協役商品株式会社（松本産業グループ） (2) アイランド設計二級建築士事務所 (3) 株式会社羽田 (4) 富士市役所 都市整備部 市外地整備課 まちなか整備担当 (5) ヤザキ工業株式会社 メディカル事業部	企業概要、所在地 URL 副業・兼業の活用背景、活用内容（対象領域）、契約形態、副業・兼業人材との関わり方、活用評価（総合満足度）感想、今後の継続意向、その他
	<副業・兼業人材> ・協働日本 協働プロ郡司弘明（埼玉県在住） ・協働日本 CSO 藤村昌平（千葉県在住） ・デザイナー 三井佳奈（富士市在住） ・ガソリンスタンド広報担当 井出由佳（富士市在住） ・フリーランス 藤本美紀（東京都在住）	属性（年代、居住地、本業の職種）本業の仕事内容 副業・兼業の目的、仕事内容、感想、今後の継続意向、その他

4 研究の成果

(1)当初の計画 ほぼ予定どおりに実施。

(2)実際の内容 A:

当初、本事業の成果の活用事例集はWEB発信のみを予定していたが、多くの市内中小企業者に認知・理解していただくため、パンフレットを制作することとなった。

一方1月に予定していた報告会は、より発信効果の高い「副業・兼業マッチング交流会」（2月20日（火）東京開催）の1部を担当し、ゼミ生によるオンラインによる報告を実施することとなった。

(3)実績・成果と課題

①実績・成果

ゼミ生は本研究を通じて、労働力減少下における多様な人材活用の1つである副業・兼業を推進する意義と、企業・団体側および人材側のメリット・デメリット、効果を生み出す要件等を理解することができた。さらにヒアリングのアポどり、ヒアリングの実践を通じて、コミュニケーション力、関係者との調整力、取材力、文章作成力、不測事態や状況変化に応じた対応力を修得することができた。

②課題

課題としては、対象の企業・団体、副業・兼業人材を確定するまでに時間がかかり、ヒアリングの実施が年末になってしまい、ヒアリングのまとめ、パンフレット制作の期間がタイトになってしまったことである。

(4)今後の改善点や対策

今後の改善点や対策としては、ヒアリング対象者の選定を円滑にするため、協力者とのコミュニケーションを良くとり、余裕を持ったスケジュールで実施できるよう、認識合わせ、情報共有の円滑化があげられる。

5 課題提出者への提言

富士市への提言としては、既にも実施している施策もあるが、1)企業と副業・兼業人材活用の説明会、マッチング交流会の開催、2)受け入れ企業・団体および副業・兼業に関心を持つ人材双方の相談窓口の創設、3)活用のノウハウ提供、成功事例の共有、活用した企業・団体からの積極的な発信、4)企業・団体と、副業・兼業人材が自由に情報交換できるホームページ、チャットの創設、5)富士市のホームページに専用サイトの創設（募集企業リストとデジタル履歴書等人材情報の掲載とマッチング機能の付加）等があげられた。

6 課題提出者からの評価

課題提出者からの評価は以下のとおりである。

本市が提案した「中小製造業の業務改善調査（副業・兼業やDXの導入による効果）」に参画いただき、ありがとうございました。富士市内企業は人口減少による人手不足のため、業務の効率化を行うことが必須となっています。副業・兼業は低コストで業務の効率化を図れますが、導入する企業はまだ多くありません。今回の調査で先行して導入している事例が明確化され、この調査結果をモデルに市内企業への導入をさらに進めていきます（富士市 産業交流部産業支援課）。

◇活動風景（富士信用金庫、ラジオエフ佐野氏によるレクチャー、ヒアリングロールプレイ）



◇ヒアリング実施写真



◇小豆川ゼミ・研究室年 全体写真

